

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,143	34,097
受取手形及び売掛金	10,624	10,229
有価証券	22,799	—
商品及び製品	7,839	7,892
仕掛品	433	439
原材料及び貯蔵品	2,487	2,739
その他	1,052	1,229
貸倒引当金	△20	△23
流動資産合計	58,360	56,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	10,543	10,250
その他 (純額)	7,724	7,815
有形固定資産合計	18,267	18,065
無形固定資産	2,216	2,616
投資その他の資産		
投資有価証券	12,010	11,217
その他	1,758	1,762
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	13,757	12,968
固定資産合計	34,241	33,650
資産合計	92,602	90,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,744	1,882
短期借入金	272	105
未払法人税等	1,184	1,216
賞与引当金	924	870
その他の引当金	323	231
その他	7,300	5,309
流動負債合計	11,749	9,614
固定負債		
退職給付に係る負債	2,321	2,312
その他	2,782	2,572
固定負債合計	5,103	4,884
負債合計	16,853	14,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,235	11,012
利益剰余金	47,966	50,761
自己株式	△1,866	△1,827
株主資本合計	68,729	71,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,419	4,601
繰延ヘッジ損益	—	△27
為替換算調整勘定	△4,467	△5,670
退職給付に係る調整累計額	△269	△228
その他の包括利益累計額合計	683	△1,325
非支配株主持分	6,336	5,740
純資産合計	75,749	75,756
負債純資産合計	92,602	90,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	63,294	61,086
売上原価	28,183	28,361
売上総利益	35,110	32,725
販売費及び一般管理費	26,519	24,824
営業利益	8,591	7,901
営業外収益		
受取利息	187	201
受取配当金	99	110
持分法による投資利益	270	349
その他	178	217
営業外収益合計	737	878
営業外費用		
売上割引	18	14
支払補償費	25	20
その他	12	14
営業外費用合計	56	48
経常利益	9,272	8,730
特別利益		
固定資産売却益	9	4
特別利益合計	9	4
特別損失		
固定資産売却損	3	2
固定資産除却損	38	32
その他	—	0
特別損失合計	42	35
税金等調整前四半期純利益	9,239	8,699
法人税等	2,685	2,423
四半期純利益	6,553	6,276
非支配株主に帰属する四半期純利益	538	465
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,015	5,811

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	6,553	6,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,260	△818
繰延ヘッジ損益	—	△27
為替換算調整勘定	△647	△1,573
退職給付に係る調整額	30	74
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	15
その他の包括利益合計	1,618	△2,328
四半期包括利益	8,172	3,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,895	3,802
非支配株主に係る四半期包括利益	276	145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,239	8,699
減価償却費	2,422	2,562
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	△44
受取利息及び受取配当金	△287	△311
為替差損益 (△は益)	△89	△112
持分法による投資損益 (△は益)	△270	△349
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,335	73
たな卸資産の増減額 (△は増加)	683	△699
仕入債務の増減額 (△は減少)	△44	187
未払金の増減額 (△は減少)	△1,281	△1,958
その他	858	290
小計	9,882	8,341
利息及び配当金の受取額	281	300
保険金の受取額	171	—
法人税等の支払額	△2,289	△2,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,044	6,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,747	△2,339
定期預金の払戻による収入	2,007	2,400
有価証券の取得による支出	△21,799	△3,499
有価証券の売却及び償還による収入	20,000	21,300
有形固定資産の取得による支出	△1,798	△2,596
無形固定資産の取得による支出	△779	△983
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
その他	△29	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,154	14,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△147
配当金の支払額	△2,380	△3,011
非支配株主への配当金の支払額	△270	△266
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	—	△586
その他	△12	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,663	△4,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96	△304
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	129	16,119
現金及び現金同等物の期首残高	12,880	13,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,009	29,760

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社は当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

顧客に対する一部の支払について、従来、販売費及び一般管理費として会計処理しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上高から控除しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が19億19百万円減少し、販売費及び一般管理費は19億19百万円減少しております。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

また、セグメント情報に与える影響については、(セグメント情報等)に記載しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,534	15,021	10,738	63,294	—	63,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,385	2,421	282	6,088	△6,088	—
計	40,919	17,442	11,020	69,383	△6,088	63,294
セグメント利益	5,762	1,168	1,660	8,591	—	8,591

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,771	13,187	10,128	61,086	—	61,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,592	2,506	280	6,379	△6,379	—
計	41,364	15,693	10,408	67,466	△6,379	61,086
セグメント利益	5,097	894	1,909	7,901	—	7,901

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当社の在外連結子会社は第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用し、顧客に対する一部の支払について、従来、販売費及び一般管理費として会計処理しておりましたが、売上高から控除する会計処理に変更しております。

この変更に伴い、「インドネシア」セグメントにおける外部顧客への売上高が2億87百万円減少し、「海外その他」セグメントにおける外部顧客への売上高が16億31百万円減少しておりますが、セグメント利益に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2018年11月22日開催の取締役会において、ACG INTERNATIONAL SDN. BHD. (本社：マレーシア国クアラルンプール、以下「ACGI社」)の全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。これに伴い、同日付で株式譲渡契約を締結し、当該株式譲渡契約に基づき、2019年1月4日に同社の株式の100%を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	ACG INTERNATIONAL SDN. BHD.
事業の内容	化粧品の企画および販売

(2) 企業結合を行った主な理由

現在、当社は2027年のありたい姿「VISION2027」の実現に向け、国内外において積極的な事業展開を行なっております。具体的には、基本方針である「アジアの成長を取り込んだ真のグローバルカンパニーへの進化」、「男性事業のお役立ちの更なる深化と、女性事業における積極的投資および拡大」に則り事業展開を進めています。

ACGI社は、マレーシアを中心に東南アジアの若年層の女性向けメイクアップブランド「SILKYGIRL」を中核として、化粧品の企画および販売を行う会社です。世界的なコスメティックトレンドを素早く取り入れた上で、東南アジアの感性豊かな消費者の嗜好にフィットし、10代～20代の女性を中心に大きな支持を得ています。ACGI社の100%株式を取得することで、今後、東南アジアにおける当社グループの存在感を一層高めてまいります。

(3) 企業結合日

2019年1月4日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の100%を獲得したためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	58百万米ドル
-------	----	---------